

令和6年6月30日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 池田 幸恵

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	イベントと地域の活性化
2	派遣場所	全国市町村国際文化研修所
3	期間	令和6年6月26～28日
4	派遣議員	池田幸恵
5	報告	<p>【講義】我が国観光の現状と今後の取り組み</p> <p>講師 観光庁観光地域振興部観光資源課 豊重巨之 氏</p> <ul style="list-style-type: none">・観光の意義・データに見る観光の状況・観光コンテンツの造成・今後の取り組み <p>以上をテーマに講義を受けた。改めて観光の意義、資源としての観光ターゲットに応じた稼げるコンテンツを学べた。</p> <p>【講義】地域資源の発見と活用</p> <p>講師 株式会社 KITABA</p> <p>相談役(内閣府・地域活性化伝道師) 大下茂 氏</p> <ul style="list-style-type: none">・はじめに一地域の魅力の原点・地域を客観的に評価するための6つの心構え・地域資源発見のための7つの発想法・地域資源を生かしたイベント企画(テーマ)のポイント・総括—地域での実践に向けての極意 <p>すぐには広がらない。その気・やる気・本気・根気の4つの気が続けることの必要性を学んだ。</p> <p>また以前は Attention (注意を引く)・Interest (関心を持たせる)・Desire(欲求を喚起する)・Memory(記憶に残る印象を与える)・Action (行動を促す)の五つの要素から成り立ち、頭文字をつなげ AIDMA(アイドマ)が、観光における購買行動プロセスの基礎理論であったが、最</p>

近は search(検索)、share(共有)が入ってきて AISAS という新しい購買行動プロセスが不可欠になってきた。

【演習】意見交換

講師 株式会社 KITABA

相談役(内閣府・地域活性化伝道師) 大下茂 氏

- ・自慢の地域資源と地域課題について語ろう！！

グループワークのアイスブレイクの手法としてテーマごとに意見を出し合った。

【講義】イベントと地域の活性化

講師 株式会社チェリー企画

代表取締役(総務省・地域創造アドバイザー) 桜井篤 氏

- ・魅力発掘プロデュースとは

地域に埋もれた資源を掘り起こして、その魅力を引き出し(観光商品化を経て)発信し、訪れる側にも迎え入れる側にも、以前より少しでも幸せになってもらう実践的行為。

- ・スポーツ・音楽を題材とする地域密着型フェスティバルなどのイベントを核とした地域活性化の推進により、地域のさらなる発展と新たな魅力の創出に繋がる相乗効果を得る。

- ・地方自治体の視点に立ち、イベントを契機に地域の個性を活かしたプロモーション活動の展開や、活力の向上に繋がる方策について、講義や演習を通じて学んだ。

【事例紹介】「絶メシリスト」群馬県高崎市の取り組み

講師 群馬県高崎市総務部広報課 田辺諒平 氏

- ・絶メシリストに実際の取り組んだ方でなく、業務の引継ぎの職員さんの事例発表だった。立ち上げ時のいきさつや苦労話などが聞けず少し残念だった。ただ時代と共に変化する広報活動手法と広報の重要性を確認できた。高崎市は博報堂と契約し広報し、500万ほどかけ毎年更新し続けている。

【事例紹介】「まちあそび人生ゲーム」島根県出雲市から始まった取り組み

講師 NPO 法人出雲まちあそび研究所 理事長 田中寛氏

- ・商店街を元気にしたい！という思いから認知度の高い人生ゲームを活用することによって近くて遠い存在だった商店街とのコミュニケー

		<p>シヨンが生まれていった。実在するお店が舞台となるため町全体に賑わいに繋がっていた。</p> <p>【演習】地域を巻き込んだイベント戦略</p> <p>3~4人ごとのグループに分かれ、イベント戦略PPを作成し発表した。</p>
		<p>学んだことをもとに、すぐに実践に取り組めるのがよかった。自分の地域の観光、イベントに置き換えて考えることができた。</p> <p>3日間共通して出てきたワードが「今だけ」・「ここだけ」・「あなただけ」</p> <p>観光資源の磨き上げの必要性を感じた。</p>